

津別町森林バイオマス利用推進協議会 つべつウッドロスマルシェ実証事業 成果報告会

日時 令和6(2024)年
1月24日(水)14:00~16:00

会場

津別町役場 1階
健診ホール

参加方法

現地対面
(会場)

Web
視聴

二次元



参加費用

無料

申込

URL、二次元コードを確認し、参加お申し込みのほどお願いいたします。
【URL】 <https://forms.gle/J5G5kYcxBDKRunA79>

備考

◆現地対面(会場)をご希望の方で、ネット上からのお申し込みができない場合は、裏面の参加申込書式(ネット以外用)に必要事項を記入し、持参またはFAXいただくか、下記の問い合わせ先からお申し込みください。

携帯からも
申込可能!



成果報告会の目的・プログラム

本報告会では、津別町が令和5(2023)年度より実践している「つべつウッドロスマルシェ」に関する進捗等を報告するとともに、町民の皆様方への普及周知及び学ぶ機会として、当町における木質バイオマスの今後の展開に向けた情報提供について、講師よりご講演いただきます。

◆ 成果報告 (今年度の取り組み・今後の流れ)

窪江 優美 (くぼえ まさみ) 氏 (一社)日本森林技術協会 事業部 林業経営G 森林創生支援室 技師
兼平 昌明 (かねひら まさあき) 氏 津別町役場 産業振興課 再エネ推進係 係長

◆ 基調講演 大樹町スマート街区について

奥 純一 (おく じゅんいち) 氏
大樹町役場 建設水道課 課長

◆ 情報提供 津別町×道総研のエネルギー研究成果

阿部 佑平 (あべ ゆうへい) 氏
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所
建築研究部 環境システムグループ 主査 (建築環境)

主催：津別町森林バイオマス利用推進協議会
後援：津別町 協力：一般社団法人日本森林技術協会
【問い合わせ】ご不明な点や質問等がございましたら、お気軽にご連絡ください。
津別町役場 産業振興課 再エネ推進係(担当) 兼平・松本
TEL：0152-77-8387 FAX：0152-76-1217

この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて実施しています。



つべつウッドロスマルシェ実証事業（2年目）の取り組み

令和5年6月より「つべつ木質バイオマスセンター」及び「つべつウッドロスマルシェ」が本格稼働・運用を開始しました。今年度は、当該センター及びウッドロスマルシェの取り組みの進捗状況を整理するとともに、津別町の地域内エコシステムの構築と木質バイオマスの地産地消を目指すため、チップ製品化に向けた品質分析調査を行いました。

具体的な実施項目（抜粋）

□ チップ化および薪製造、品質分析試験、意向調査

- ・当町のチップパー（MUS-MAX）でチップ製造を行い、どのようなチップが製造・販売が可能かを検討しました。
- ・チップ化は、ウッドロスマルシェの規格A～Dを基に樹種ごとに製造し、どのような差異があるかを整理しました。
- ・製造されたチップは、品質分析試験を行いました。



第1回目
ウッドロスマルシェ



品質分析試験（粒度分析）

基調講演～大樹町スマート街区について（概要）～

木質バイオマスと太陽光発電等を活用したスマート街区構築事業

大樹町では、町内の森林資源である木質バイオマスの活用を推進し、エネルギーの多面的な有効活用を行うとともに第一次産業の振興および災害に強い地域防災拠点づくりに寄与することを目的に、公共施設4施設を合わせた公共施設群を「スマート街区」のモデル地域として、木質バイオマスの熱利用と太陽光発電によるマイクログリッドの形成を行い、地産地消の新たな電力熱供給モデルを構築しました。

本事業に取り組んだ背景としては、平成30（2018）年に発生した胆振東部地震に伴うブラックアウトの発生を受けた災害レジリエンスの強化や役場庁舎の建替え（建屋更新）のほか、昨今の低炭素社会の実現（ゼロカーボン）といった機会が事業推進の後押しをしました。

スマート街区の基本方針

- 街区の非常時対応機能の強化
- 再生可能エネルギーとして、木質バイオマス、太陽光発電を最大限活用
- 地域エネルギー事業の中核としてエネルギー地産地消を推奨



大樹町：木質バイオマスエネルギー棟



シュミット社製
高湿潤チップボイラー

参加申込書（ネット以外用）

申込日： 年 月 日

氏名

ふりがな

所在地

道内・道外（ ） 津別町・その他（ ）

参加方法

○をお願いします。

現地対面（会場）

Web視聴

連絡先（電話）